

ぼうさい高尾台（旧 I D P T）「防災勉強会」会議報告

【日 時】 令和2年2月27日（木） 13時～15時

【参加者】 12名（50音順）

- ・ ぼうさい高尾台：大場、川原、清水（義）、清水（恵）、竹内、橋場、浜野、山原
- ・ 町会役員等：越野、中田、本多、元尾

【講 師】 石川県防災士会副会長 大月真由美氏

【概 要】 テーマ「命を守る行動について」

《講師から伺った話の要点》

◎きほんの「き」を学ぶ

- ・ 避難場所と避難所の違いを知っていますか
- ・ 避難所（高尾台中）の鍵は誰が持っているか知っていますか
- ・ 避難所運営のルールは決まっていますか（ルールは行政が作るのではないことを知る）
- ・ 避難所では要支援者やペットにどう対応したらいいでしょうか

◎もし災害が起こった時には行政はあてに出来ない（3日は支援が届かない等）と考えて、「自分たちの地域と住民は自分たちで守る」という方針で、「万が一に備えるではなく、いつでもに備える」つもりで「町会の防災計画」をつくることが大切であるということ。

◎「自分の命もみんなの命も守る行動」を基本に、避難の際の安否確認の仕方や避難所の運営のポイントなどを考えること

◎既に野々市市で実践されている地域防災に関する様々な取り組みの紹介

- ・ 避難世帯カードなど

◎町会として防災に取り組む際の短期目標や長期目標などの設定の仕方について

* 町会の防災計画や避難所運営ルール作りなど様々な課題解決のため大切なことは…

- ・老若男女みんなの意見を広く聞くこと
- ・まずは小さなことからやってみること（一度にゼロから完璧なものを目指しても無理）
- ・先進事例に学び、遠慮することなく良いものは取り入れること
- ・「こうしてみたらどう？」と気軽に言い合える町会員どうしの関係づくりが大切

* 「ご近所」とは「互近助」である。これが基本。

◎避難所運営マニュアルを策定したらそれで終わりではなく、平常時に「PDCAサイクル」で、より良いものに改善していくことが重要。

マニュアルをつくる⇒町会全体に知ってもらう⇒防災訓練で試してみる⇒反省点や改善意見を聞く⇒マニュアルを改善する

◎その他、「災害発生の危険度表示」などについて、パワーポイントで教えていただいた。

《全体として》

- ・時間の経つのがとても早く感じられる非常に有意義な時間を過ごすことができたと思う。
- ・当初の予定では、次年度の活動計画などについても議論する予定であったが、大月さんのお話が内容豊富であったため、時間がなくなり、そこまで議論することができなかった。
- ・来年度は、町会各班に防災委員ができるので、新役員のもとで、出来ることから少しずつ活動していくつもりで計画などを作っていけばいいのではないかと、大月さんのお話を聞きながら思った次第。

(以上)